

# おとあまらマっぷ

2009年 初夏

31号

私たちが住む小川町の代表的な地場産業と言われている和紙。しかし現在、その後継者や原料は風前のともし火にあります。私たちは千年持つという手漉き和紙の技術を後世に伝えたいと願いました。そこで、その魅力を体感してみたいと、手漉き和紙で七夕飾り作りに今年も挑戦します。

お店の入り口は、  
かずから棒と  
和紙の行灯で  
お迎え



テーマ **1300年の手漉き和紙の伝統と技術を30世紀に伝えるために**  
(小川町七夕まつり7月25、26日開催)

今年のデザイン



画:五十嵐 晃

今年も  
小川七夕祭に  
参加しま〜す

2階の軒先に、  
細長く切った  
和紙のスクリーンを  
作り、小川の自然や  
人を映します。

竹竿にはのろし  
(和紙の吹流し状のもの)  
をたらし、その輪っか  
の中には竹炭を吊るし  
カタカタ…とっ。

**日程**

5月	映像試験
6月、7月	七夕製作
7月25・26日	七夕祭り参加
9月	再生紙講座
11月	お父さんの焼き芋タイム&竹炭講座

**七夕製作  
ボランティア  
スタッフ募集中**  
お申し込みは下記へ

**募集 1** **こうぞたい 小川町楮隊ボランティアスタッフ募集**

プロジェクト趣旨  
小川手漉き和紙の原料は四国や外国からの仕入れに頼っています。それら原料は、現地で働く人々の高齢化や経済事情により、その供給が不安定になりつつあります。楮は本格的な収穫を迎えるまでに少なくとも3年はかかります。また栽培に当たって様々な実地検証も必要となります。つまり、楮の供給が完全に途絶えてからの行動では間に合わないのです。このような理由から、小川町における和紙作りを後世に伝えるため、「30世紀につながる小川町づくり委員会」では、小川町での楮栽培を復活します。

**募集 2** **こうぞたい 小川町楮隊ワークショップ参加者募集**

「紙屋になる - Washi-」講座  
和紙の原料となる楮を栽培から紙漉きまで挑戦し、木から紙ができる感動を体験してみよう。

- 企画内容 第1回 楮の芽かきと工房見学 ●募集:8月1日より
- 第2回 楮かきとかずひき ●費用:10,000円
- 第3回 紙漉き体験とランプづくり

すべてのお申し込みお問い合わせ 「30世紀につながる小川町づくり委員会」  
090-4453-6355(高橋) E-mail:ogawamap@tubasa-u.com

次号まっぷ32号2009年10月中旬  
「小川の先人の知恵を尋ねて」

生活工房 **おどろき・遊** FAX: 0493-73-0208(高橋)  
E-メール ogawamap@tubasa-u.com  
http://tubasa-u.com/